

密の中の小さな開放

1: BACKGROUD
近年大規模な都市再開発による密集地の増加により住宅地の減少があらわになったり、密度が高い地域では家を建てるにも空間が見えないほど意欲しいなど、様々な問題が顕在化している。



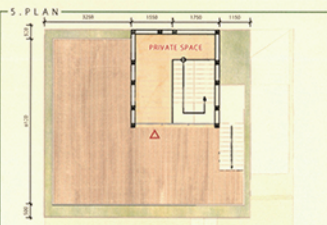
2: CONCEPT
都市の狭い都市の小さな住宅に開放感をつくりだす。都市の小さな住宅であっても、むしろ高層建の周囲に囲まれた都市の小さな住宅であるからこそ、「庭」は必要と呼喚であり、そこで得られる開放感を単なる付加価値として片づけることはできない。本来の建築を利用した安全な計画と密度ある住宅地に小も豊かな開放のある住宅を設計する。

3: DIAGRAM
□安全性・防犯性
通風 自然通風
月の軌跡
周状の敷地は低層の山脈ができており、しっかりとした造成するには多くの費用がかかってしまう。また近年の大規模な再開発などにより敷地がたちまち不安定になる。もともとある自然の地形を利用することで、自然に馴染むような住宅の設計とした。

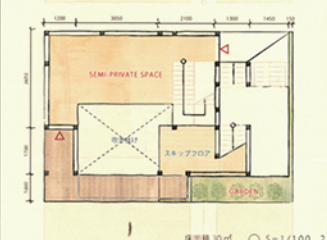
□安全性・防犯性
傾斜に沿った段上りすることで上への開放感が得られ、密集地では難しい庭をつくりだす。また、通風や雨の吹き抜けなどにより開放感と、緑化により室内のプライバシー保護と、風の静穏として豊かな空間を形成する。

□安全性・防犯性
傾斜に沿った段上りすることで上への開放感が得られ、密集地では難しい庭をつくりだす。また、通風や雨の吹き抜けなどにより開放感と、緑化により室内のプライバシー保護と、風の静穏として豊かな空間を形成する。

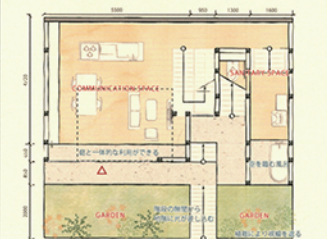
4: 用途で分ける新たな部屋割り
3-1 プライベート部分は空間としてではなくすることで、より開放的な空間となる。外部の景色が広がる。また、通風や雨の吹き抜けなどにより開放感と、緑化により室内のプライバシー保護と、風の静穏として豊かな空間を形成する。



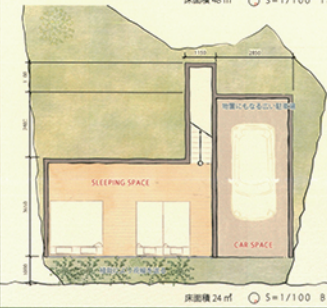
※1F 床面積: 37.0㎡ (1F 10.0㎡) ※2F 床面積: 37.0㎡ (2F 10.0㎡) ※3F 床面積: 37.0㎡ (3F 10.0㎡)



※1F 床面積: 37.0㎡ (1F 10.0㎡) ※2F 床面積: 37.0㎡ (2F 10.0㎡) ※3F 床面積: 37.0㎡ (3F 10.0㎡)



※1F 床面積: 37.0㎡ (1F 10.0㎡) ※2F 床面積: 37.0㎡ (2F 10.0㎡) ※3F 床面積: 37.0㎡ (3F 10.0㎡)



※1F 床面積: 37.0㎡ (1F 10.0㎡) ※2F 床面積: 37.0㎡ (2F 10.0㎡) ※3F 床面積: 37.0㎡ (3F 10.0㎡)

